

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、政策デザイン課(☎65-6504)までお知らせください。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ ▲ほっとにゆ〜す

5月15日(土) 新嘗祭へ献納 お田植え祭

秋に行われる宮中行事「新嘗祭」に献納する米のお田植え祭が行われました。県代表として米を献納することになったのは、勝町の福永利平さん。市内で献穀田が選ばれるのは平成21年以来、六荘地域では昭和14年以来となります。

この日は、豊作を祈願する神事のあと、福永さんの家族らが早乙女役を務め、苗を植えました。福永さんは、「大変名誉なこと。立派な稲穂が実るように頑張ります」と語りました。



5月27日(木) わら草履制作者に園児が感謝

約30年前から毎年よご認定こども園の園児たちにわら草履を贈っている制作者の一人の寛太郎さんが園を訪問し、わら草履の作り方など、実演を交えて解説しました。園児たちは、手足を器用に使い草履を編む姿に興味津々に見つめていました。

3歳児の園児たちは、贈られたわら草履をこの日初めて履き、「ちゃんと履けました。ありがとうございます」と元気にお礼を言い、わら草履の感触を楽しんでいました。

5月27日(木) 園児から医療従事者に「ありがとう」

一麦保育園の園児が、新型コロナの治療や感染防止施策に取り組む医療従事者や行政関係者を応援しようと、折り紙などで花束をつくり、藤井市長に手渡しました。

「希望」の花言葉を持つアヤメをモチーフにしたもので、感謝のメッセージや園児一人ひとりの笑顔が描かれています。

花束は市内の病院のほか、長浜保健所や市の担当課に贈られました。



5月28日(金) 放課後児童クラブにカロム盤等を寄贈

大阪ガス株式会社Daigasグループが、放課後児童クラブで使用するカロム盤等を寄贈しました。

これはDaigasグループの社員が、地域社会の問題解決に取り組む企業ボランティア活動「小さな灯」運動の一環で、40年前から継続して取り組んでいるものです。

寄贈を受けた市長は感謝を伝えるとともに、継続して取り組まれている活動に敬意を表しました。



5月28日(金) 思い寄せた聖火、長浜に到着

東京2020オリンピックの聖火が長浜市に到着しました。滋賀県でのリレーは30府県目。全19市町33.3kmを、5月27日～28日の2日間で行われる日程で実施され、179人ものランナーの手によって、県内最終区間となる長浜市に無事届けられました。

市内の区間を走った市民の皆さんは、杉本夏穂さん、小林佐綺さん、川瀬空さん、渡辺浩之さん、福井響さんの5人。多くの思いを寄せた聖火を、力強くつなぎました。



6月3日(木) 人も鳥も集える森づくりを考える

「菅山寺の森友の会」が、野鳥の目線で見た菅山寺の森づくりを考える勉強会を開きました。

危険木として伐採される朽ちた樹木が、実は野鳥を育む絶好の場になっていることなど、動物のための多様な環境をつくる要素を学びました。「野鳥たちがこの森をどう利用し、どの点を好んでいるか、一端がわかった」という感想も聞かれ、今後の森づくりへ大きなヒントをもたらす勉強会となりました。

6月5日(土) 近世城下町は、活気溢れる現代都市のルーツ

長浜まちなか中心市街地一帯で「近世城下町ふるさとまつり夏の陣」が開催されました。

岡崎市美術館の学芸員堀江登志実氏を招き、「地域特性を城と城下町に見る～家康の町「岡崎」と秀吉・三成の町「長浜」～」をテーマにトークライブが行われました。

長浜と岡崎それぞれの城と城下町の歴史を対比し、共通点や相違点、城下町の成り立ちなどについて語られました。



6月6日(日) 選手たちが自己ベストに挑戦

浅井ふれあいグラウンドで、長浜市陸上競技大会が開催されました。

今年で33回目を迎える本大会に、小学4年生から一般参加まであわせて498人が参加しました。

100m走などのトラック競技、走り幅跳びや砲丸投げなどのフィールド競技が行われ、選手たちは日頃の練習の成果を出そうと、全力で競技に臨んでいました。